

碑文

是れ騎兵第二十聯隊出身各部隊並に師團衛兵騎兵戦没者慰靈の碑なり。抑も騎兵第二十聯隊は明治三十八年姫路に於いて編成されず直に日露戦争に参加し、以後京都深草に移設、深草桃山長池饗庭野青野ヶ原各演習場にて訓練を重ね、シベリヤ出兵満州事變を経て昭和十二年に支那事變起るや北支に出撃し、更に徐州南京武漢の作戦攻略に赫々たる戦果を収めたり。同十三年騎兵第百二十大隊（嵐）は中支に、同十六年太平洋戦争に當り搜索第十六聯隊（垣）はフィリッピン方面に進攻し、同十八年搜索第五十三聯隊（安）はビルマ方面へと、各々幾多辛酸を嘗め、縦横兵馬の任を完うし、武勲枚擧に違なし、但その間尊き犠牲も亦少なからず、實に九百有餘柱に及ぶ。今生存する我等、相寄り相偲び、永く偉烈を讃へ、靜かに冥福を祈り 茲に此碑を建つるものなり。

昭和四十九年十一月

慰靈碑建設有志一同